



学校評価だより

～中間自己評価～

令和5年10月 発行
珠洲市立宝立小中学校

令和5年度中間期の学校評価として、児童生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。また、学校関係者評価委員の方々に授業を参観していただきました。先日の評価委員会での協議、そして1学期にとらせていただきましたアンケートの結果や自己評価の結果（裏面）も踏まえて、今後の取組についてお知らせいたします。今後の取組を進めるにあたり、ご家庭にご協力いただくこともございますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

本校の教育目標

ふるさと宝立の自然や人に学び、たくましく生き抜く子の育成

目指す児童生徒像
本校の重点目標

◇確かな学力を身に付けた子（知育）
『自律的な学習者の育成』

◇思いやりがあり心豊かな子（徳育）

◇健康・安全を育み守る子（体育・食育）

重点目標



(1) よく考え、確かな学力を身につけた子の育成

(2) 思いやりがあり心豊かな子の育成

(3) 健康・安全を育み守る子の育成

(4) 魅力ある学校づくりの推進

本年度重点事項



(1) 学んだ知識を活用し、自ら考え、行動できる
見方・考え方を持った児童・生徒の育成

(2) 自己管理能力、
自らコントロールする力の育成

(3) 体力向上の取組の充実

(4) 学びを実感できる児童・生徒会活動の創造

《結果・分析》

○授業で、児童・生徒と共に課題をつくることを常に意識し、問い返し発問を工夫しながら取り組んでいます。
【教Ⅰ-3】

○授業の中で、学ぶ喜びや達成感の構成要素に着目した「わかる授業」を目指し実践していることから、児童・生徒は授業内容を理解しています。
【児生1, 教Ⅰ-8】

○保護者から「授業がわかりやすいように工夫している」については理解を得ています。
【保7】

▲ICT端末の活用について、家庭学習では効果的に取り入れられていないため、児童・生徒も肯定的な回答が大きくありません。
【児生6, 教Ⅰ-9】



《改善策》

◇テスト前にeライブラリ
一の課題を中心に週末課

題を出すなどして、計画的に取り組ませます。

◇「けてぶれ学習」を充実させるために、教師が価値づけてよい点や改善点を伝えたり、共に効果的な学習について考えたりしていくことが大切です。また、各クラスやブロック集会で友達の良いけてぶれに触れるなど、常に意識できる環境をつくっていきます。

《結果・分析》

○挨拶、自問清掃に関する回答は、概ね肯定的で評価が高く、自主的に取り組んでいます。

【児生10・13, 保2, 教Ⅱ-1・2】

○普段の生活に生かせるように、共に考える道徳の授業を実践し、善悪の判断や自律心を育むと共に体験学習や行事にも意欲的に取り組んでいます。

【児生15, 教Ⅱ-6】

○交通ルールは守られています。
【児生19】

▲インターネット機器に関する項目では、児童生徒、保護者ともに学年が上がるにつれて、「預けている」「守っている」の割合が低くなっています。
【児生17・18, 保5・6】



《改善策》

◇SNSの機器を預けることに関して、我慢や抑制ができないため、改善に向けて保護者と連携しながら継続的に取り組みます。

◇睡眠による効果を継続的に伝えていくことで、自己コントロール力の向上や生活習慣の改善、そして睡眠時間の改善につなげていきます。

《結果・分析》

○学級担任や栄養教諭による適切な食習慣に関する指導が行われていることから、児童・生徒は苦手なものも残さずに給食を食べています。家庭でも朝食をきちんととっている児童・生徒が多いです。

【児生11, 保4, 教Ⅲ-1】

▲就寝時刻について、教師の指導不足により、児童・生徒が意識して取り組めていません。そのため、学年によって睡眠時間が少ない児童・生徒が見られます。
【児生20, 教Ⅲ-3】

▲SNSのルールについて、学年が上がるにつれ守られていない家庭も多くなっています。
【児生17・18, 保5・6】



《改善策》

◇計画的に指導する機会をつくり、指導内容を全教師で共有します。同時に睡眠の大切さも指導します。

◇SNSのルールに関しては、家庭学習チャレンジ週間の機会を通して児童・生徒がよりよい生活習慣について自ら考え行動できるように担任がサポートします。保護者にはお便り等を通じて協力を仰ぎます。

《結果・分析》

○様々な活動や行事等に目的をもって取り組んでいることから「学校が楽しいと思う」児童・生徒が多数を占めています。保護者アンケートも、「楽しそう」と感じている保護者が多数でした。
【児生9, 保1】
▲「良いことや正しいことを行う」ことについては、自分の良さを自覚していないことが原因でA評価には至っていません。
【児生12】

▲「あいどる+下足」の挨拶について、挨拶当番日には挨拶していますが、日常的には課題が見られます。
【児生10】

▲地域と連携した活動の取組では、学びが実感できたという肯定的回答がやや低いです。
【児生8, 教Ⅳ-4】



《改善策》

◇自分の良さに気づかせるように良い姿を価値づける価値語の取組を積極的に
行い、自信をつけさせます。

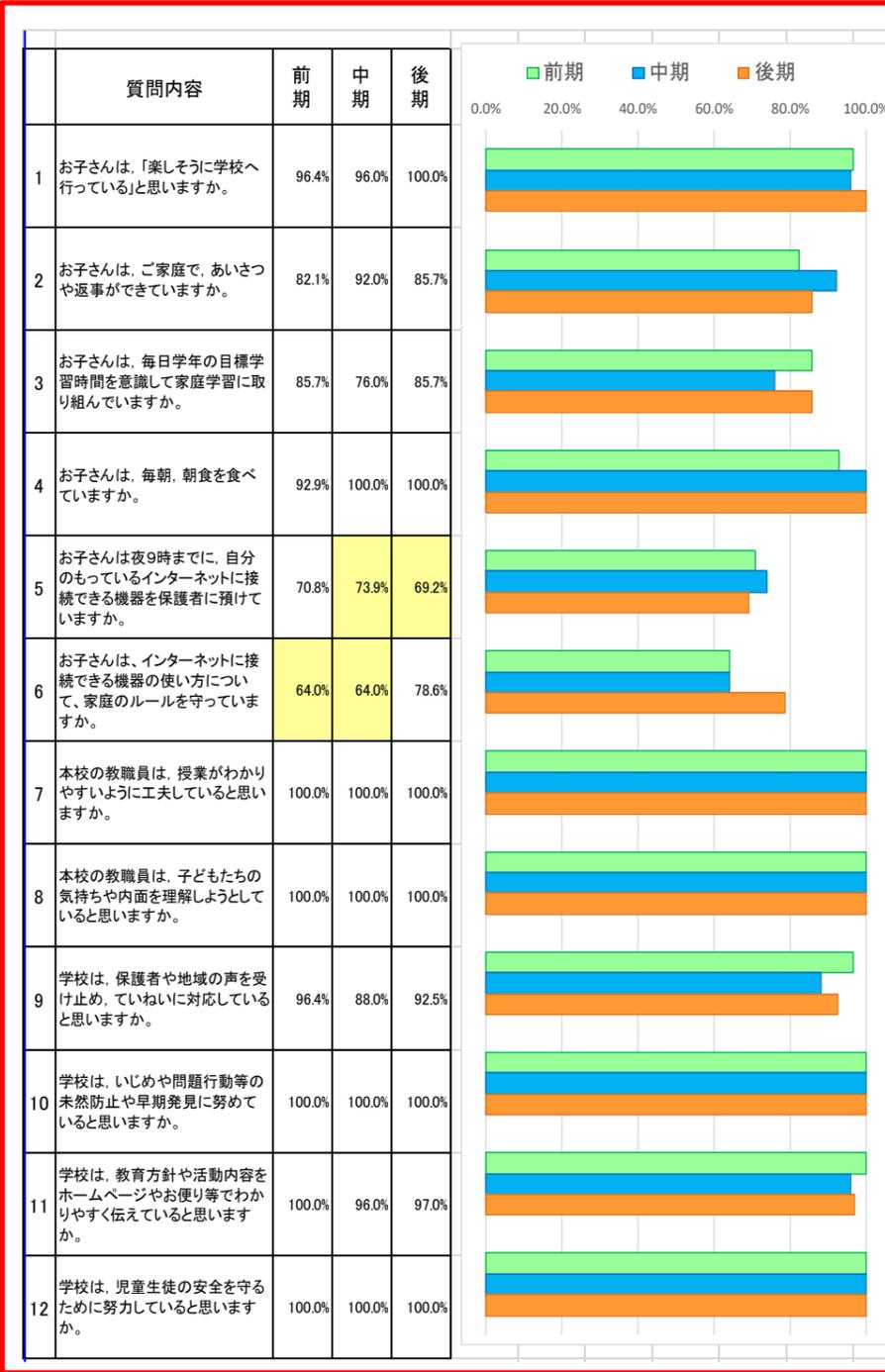
◇習慣づけるために、挨拶の意味を考えさせます。また外部の方との関わりを通して挨拶の必要性を考えさせます。

◇地域の活動では、児童・生徒が効率的、効果的に学習活動の取り組むために、教師が明確な目的と見通しをもって指導していきます。

児童・生徒アンケート結果



保護者アンケート結果



教職員アンケート結果



肯定的に回答(4または3)した合計の割合を、判定基準の一つとして下記のように評価しています。また、C評価の項目(黄色部分)については速やかに改善策を考え対応します。

- ☆児童・生徒アンケート A(前期・中期:85以上・後期:80%以上) B(前期・中期・後期:70%以上) C(前期・中期・後期:70%未満)

- ☆保護者アンケート A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)
- ☆教職員アンケート A(85%以上) B(70%以上) C(70%未満)

【学校関係者評価委員からいただいた感想・意見】

- 校長先生の学校経営ビジョンを把握され、しっかりと取り組んでいると思います。
- 授業では、活発に自分の意見を発表して活気がありました。
- 自己管理能力の判断は難しいですが、人の意見をちゃんと聞けることに結びつくならその力が育まれているのではないかと思います。
- 子どもたちはみんな楽しそうだし、積極的に学校生活を送っているので安心しています。
- SNSや挨拶などは家庭のしつけだと思います。学校にあまり負担をかけず、協力できるところはしていくべきだと思います。
- 体力アップについては判断しにくい部分があり、基準を明確にしてほしいです。